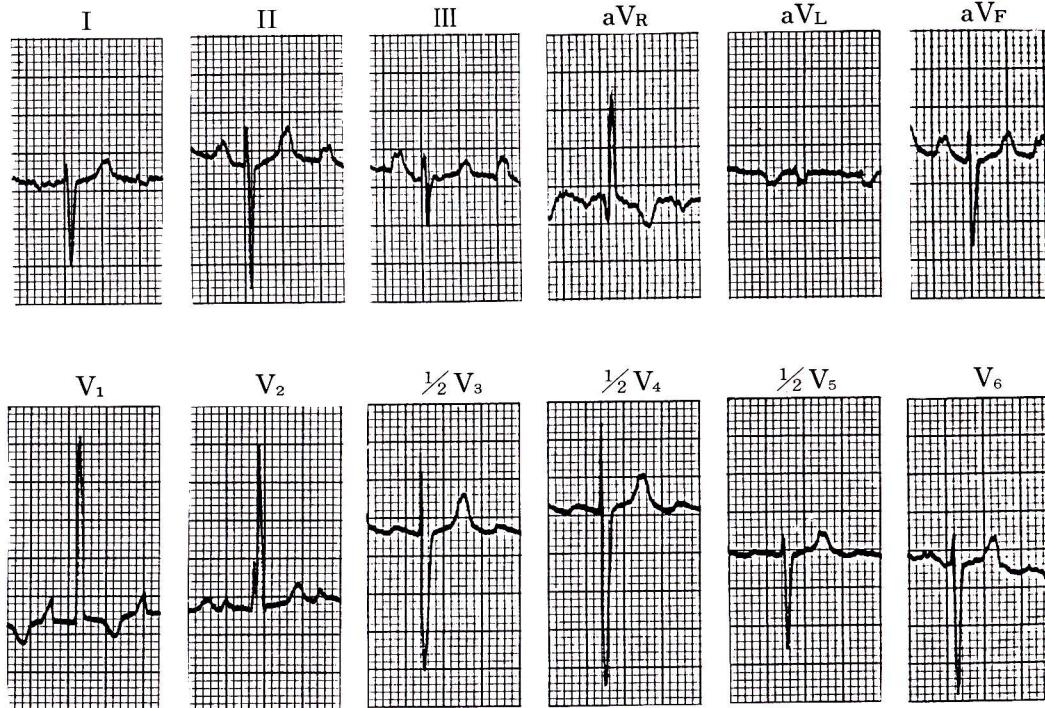


症例 6

●4歳 女

● 单心室の患者である。



1) 前額面QRS電気軸はどうか。

過度の軸偏位, 肺性P, 右心性P, 右室肥大

I, II, IIIのQRS波のフレがいずれも負 ($R < S$). したがって, QRS軸は -90° から -149° の間 (-137°)にある. この領域は過度の右軸偏位でも, また過度の左軸偏位でもありうるので, 極度の軸偏位とする. V_1 のRパタン, V_6 のR/S < 1 は右室肥大の所見であり, II, III, aVF, V_1 の尖鋭で高い陽性Pは右房負荷(肺性P波, 右

心性P波)を示している. したがって本症例の電気軸は過度の右軸偏位の表現であろうと推測される.

本例は単心室なので右室肥大という診断名は不合理であるが, これはあくまでも心電図上の診断名であり, これをどう評価するかは主治医に任せられた問題である.